

(1) 土木工事

④ 品質検査基準

工種		検査内容	検査方法	
共通	材料	(1)品質及び形状は、設計図書と対比して適切か。 (2)場合により実測する。	(1)観察又は品質証明により検査する。 (2)場合により実測する。	
	基礎杭工	(1)支持力は、設計図書等と対比して適切か。 (2)基礎の位置、上部との接合部は適切か。	(1)主に施工管理記録及び観察により検査する。 (2)場合により実測する。	
	土工	(1)土質、岩質は、設計図書と一致しているか。 (2)支持力又は密度は、設計図書と対比して適切か。		
	無筋、鉄筋 コンクリート	(1)コンクリートの強度、スランプ、塩化物総量値、アルカリ骨材反応対策等は、設計図書と対比して適切か。	(1)主に施工管理記録及び観察により検査する。 (2)場合により実測する。	
	構造物の機能	(1)構造物又は付属設備等の性能は、設計図書と対比して適切か。	(1)主に実際に操作し検査する。	
道路	舗装	路盤工	(1)路盤材料の合成粒度は設計図書と対比して適切か。 (2)支持力又は締固め密度は設計図書と対比して適切か。	(1)主に施工管理記録及び観察により検査する。 (2)場合により実測する。
		アスファルト 舗装工	(1)アスファルト使用量、骨材粒度及び舗装温度は設計図書と対比して適切か。	(1)主に既に採取されたコアー及び現地の観察並びに施工管理資料により検査する。 (2)場合により実測する。

備考

- (1) 中間技術検査・出来形部分検査等を行う場合も上記事項に準じて行うものとし、特に工事完成後検認の出来難いものについて確認を行う。